

あたら ひと うま かわ  
新しい人に生れ変わる

せいかつ みなお  
生活を見直す

せいかつ みなお  
生活を見直してみましよう。悪い事をしたことな  
く、こうしたほうがよかったのにやらなかったことを  
かんが 考えて、つぎの空白に書いてください。

だれ ひと  
誰が人をさばくのか

りっぼうがくしゃ  
律法学者たちやファリサイ派の人々は、イエスさま  
が人間を大切に<sup>たいせつ</sup>するあまり、律法を無視<sup>むし</sup>するような事<sup>こと</sup>  
をしているのを聞いていたに違<sup>ちが</sup>いありません。イエス  
さまが罪<sup>つみ</sup>を犯<sup>おか</sup>した女<sup>おんな</sup>を石<sup>いし</sup>で殺<sup>ころ</sup>す事に同意<sup>どうい</sup>しなければ、  
りっぼういはんしゃ  
律法違反者として訴<sup>うった</sup>えるつもりでした。  
ところが、イエスさまの答<sup>こた</sup>えは予想<sup>よそう</sup>に反<sup>はん</sup>した事<sup>こと</sup>でし  
た。「罪<sup>つみ</sup>を犯<sup>おか</sup>したことの<sup>もの</sup>ない者が、まず、石<sup>いし</sup>を投げな  
さい」。人<sup>ひと</sup>をさばくのは神<sup>かみ</sup>だけであつて、私<sup>わたし</sup>たちは人<sup>ひと</sup>  
をさばく事<sup>こと</sup>ができません。むしろできるのは、私<sup>わたし</sup>

ちがお互いに成長できるように協力し合う事なのです。イエスさまは罪を犯した女に、「これからは、もう罪を犯してはならない」と言いました。ただ過去の罪に目をつぶるのではなく、悪かった事は悪かった事と認めて、そのうえで自分を変えていくように求めているのです。

イエスさまの死に直面した弟子たちは、こわくてみんな隠れてしまいました。イエスさまが何かしてくださるだろうと期待していたのに、そのイエスさまがつかまって十字架刑で殺されたので、恐ろしかったのです。しかし、その弟子たちも、後で人々の前でイエ

スさまの事を伝えようと行動し始めました。弟子たちは、今まではイエスさまが何かしてくださると期待していたのに、今度は自分たちが何かしなければいけないと考えるようになったのです。私たちも新しい人に生まれ変わらしましょう。

